

三木市記者発表資料 (令和5年2月14日発表)			
担当部課名	担当長	担当係	電話番号
総合政策部 秘書広報課	課長 正心均 (内線 2410)	広報広聴係	0794-82-2000 (内線 2414)

タイトル	
<b>近畿市町村広報紙コンクール優秀賞(2席)に続き 「広報みき」が県広報コンクールで2年連続入賞</b>	
内 容	
<p>第70回(令和4年度)兵庫県広報コンクール 広報紙部門(市の部)において、「広報みき 2022年10月号」が昨年に続き2年連続で佳作に選ばれました。</p>	
1 受賞作品	広報みき 2022年10月号 
2 部 門	広報紙(市の部)(応募作品数:26点)
3 受 賞	佳作
4 主な記事の 掲載意図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特集「こんなところにも三木金物～時代、地域を越えて～」では、日本を代表する大工職人や播州三木打刃物の伝統工芸士をはじめとする三木金物に関わる多くの方に協力をいただき「日本の美」を絶やさぬ熱い想いを掲載し、市民も知らない三木金物の魅力が伝わることを意識した。</li> <li>・裏面(P36)の三木市の魅力紹介コーナー「みきのええトコ」では、三木市吉川町出身で前衛書道のパイオニアと言われている上田桑鳩を掲載。特別企画展を紹介するなど、郷土が生んだ偉大な書道家について広く周知した。</li> </ul>
5 審査講評 (全体講評 から抜粋)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特集「こんなところにも三木金物」は観光ガイドのような構成で、地域の財産を大切に、市民に誇りをもってほしいとの願いがこもっている。</li> <li>・地元の強みを鮮やかにフィーチャーし、読む人の関心を強く引き付ける編集に成功している。「あの錦帯橋にも使われている」という語り出しで、縁の下の力持ち的な産品の実力の高さ・尊さを示していく記事を展開している。</li> </ul>
セールスポイント	
<p>平成31(令和元)年度から、市民インタビューなど、人に焦点を当てた情報の充実に取り組み、令和2年度にはコスト削減と読みやすさの向上を目的に、印刷以外の製作を市役所内で行う「広報紙の内製化」に取り組んできました。</p> <p>令和3年11月からは広報アドバイザーとともに、市民をはじめ市に関わる方が喜び・安心・誇りを感じられる情報発信に取り組んできました。</p> <p>今後も広報みきを通して、市への愛着を感じてもらえるよう、さらなる充実を図っていきます。</p>	